

第16期末（2020年8月31日）	
基準価額	20,964円
純資産総額	14,087百万円
第16期	
騰落率	20.4%
分配金（税込）合計	0円

(注1) 基準価額は1万口当たりで表示しています。
(注2) 純資産総額の単位未満は切り捨て表示しています。
(注3) 騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております。

- 投信法の改正により、2014年12月以降、従来の運用報告書に代えて交付運用報告書を交付することと変更されております。
- 本交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、ありがとう投信株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、右記お問合せ先までお問い合わせください。

【運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法】
右記ホームページにアクセス頂き、「ありがとうファンド」－「運用状況・レポート」－「運用報告書」とお進みください。

ありがとうファンド

（愛称：『ファンドの宝石箱』）
追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第16期（決算日 2020年8月31日）
作成対象期間：2019年9月3日～2020年8月31日

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆様の「ありがとうファンド」は、2020年8月31日に第16期の決算を行いました。第16期も当ファンドは、長期国際分散投資で世界経済及び企業の成長を享受すべく投資先を厳選して運用を行って参りました。

ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

東京都千代田区内神田 2-15-9 The Kanda 282
ホームページ <https://www.39asset.co.jp>

◆お問合せ先

ありがとう投信株式会社

TEL. 0800-888-3900（フリーコール）

受付時間：8:30～17:30（土日祝日を除く）

お客様へのメッセージ

長谷 俊介（代表取締役社長）



皆さまのありがとうファン드는 8月31日に第16期決算を行いました。コロナ禍の非常時の中、おかげさまで無事に16周年を迎えることができました。これもひとえに皆さまのご支援のおかげであると感謝しております。誠にありがとうございます。

この一年のマーケットを振り返って見ますと、前半の今年2月初めまでは米中貿易摩擦の悪化懸念による調整や日本における消費増税による駆け込み需要とその反動減、米国景気拡大のピークアウトが懸念されながらも、株式市場は米国を中心に大きく上昇しておりました。後半は一変して、2月後半から3月にかけては新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し始めたことにより、コロナショックとなって世界の株式市場は短期間で大きく下落して高値から30%程度調整いたしました。各国政府・中央銀行による迅速かつ積極的な金融緩和・財政出動によって株価市場は下支えされ、特にテクノロジーやヘルスケア関連等のクオリティ・グロース銘柄が牽引していく形で上昇し、コロナ前の水準を回復してきました。ありがとうファンドの年間の騰落率は+20.4%の上昇となり、相対的に良好な運用成果を残すことができました。弊社は、これからもお客さまから託されたお金を大切に運用し、安定した運用成果を残してご期待に応えていけるように、短期的な相場動向に一喜一憂せず、世界経済及び企業の成長の恩恵を享受すべく長期・国際分散投資で基本に忠実に資産運用の王道を歩んで参ります。

真木 喬敏（ファンドマネージャー）



新型コロナウイルス感染拡大により私たちの生活は一変しました。しかし、当ファンドでは特に運用方針を変えておりません。当ファンドの運用方針はこれからの世界で必要とされるモノ・サービス・付加価値を提供できうる国内外の企業に厳選投資することにより、企業の持続的な利益成長を株価という形で享受するといった至ってシンプルなものです。当ファンドが以前から投資しており足元大きく上昇しているハイテク銘柄の活躍も元をたどればコロナ以前からのデジタルイノベーションというメガトレンドに乗ったもので、コロナ禍でその進行が加速されただけです。受益者の皆様におかれましても最近設定が増えている『アフターコロナファンド』に象徴されるような短期的なテーマに左右されず、長期的なビジョンで投資を継続していただけますと幸いです。また、当ファンドの厳選銘柄は毎月『[ありがとうブログ](#)』にも掲載しておりますので、是非ご参照ください。



「R&I ファンド大賞 2018」
優秀ファンド賞を受賞しました。

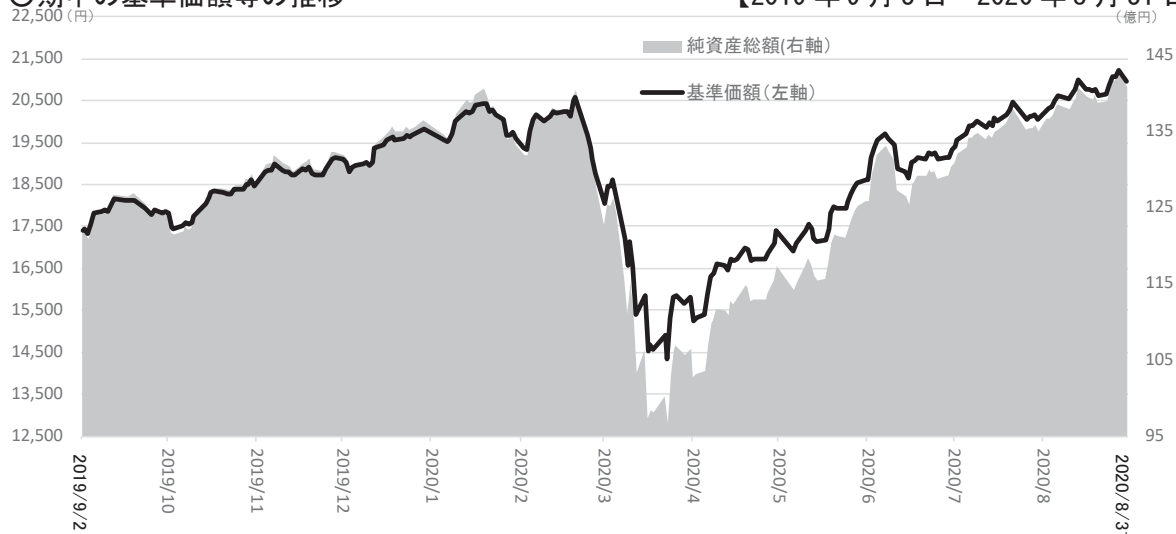
格付投資情報センター（R&I）の選定する「R&I ファンド大賞 2018」において「投資信託 10 年/外国株式」・「iDeCo・DC/外国株式」・「NISA/外国株式」の3部門で「優秀ファンド賞」を受賞しました。



運用経過の説明

○期中の基準価額等の推移

【2019年9月3日～2020年8月31日】



期 首	期 末	既払分配金	騰落率
17,417 円	20,964 円	0 円	20.4%

(注1) 当ファンドにベンチマークはありません。

(注2) 分配を行っておりませんので分配金再投資基準価額は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期は、投資先ファンドの「[アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオファンド](#)」、「[アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロースファンド](#)」、「[アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクトファンド](#)」を中心にほぼすべての投資先ファンドが当ファンドの基準価額の上昇に寄与した一方、期末直前で買い始め、保有割合が低位の「SPDR ゴールド・ミニシェアーズ・トラストファンド (金 ETF)」のみ下落要因となり、結果として当ファンドの基準価額は上昇しました。また、為替については、対ユーロで円安が進行したことも、基準価額の上昇要因になりました。

○1 万口当たりの費用明細

(2019 年 9 月 3 日～2020 年 8 月 31 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	185 円	0.989%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は 18,667 円です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	(123)	(0.659)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(41)	(0.220)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(21)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝ $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託受益証券)	(0)	(0.001)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.000	(c) その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(その他)	(0)	(0.000)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用及び金銭信託に係る手数料
合計	185	0.990	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

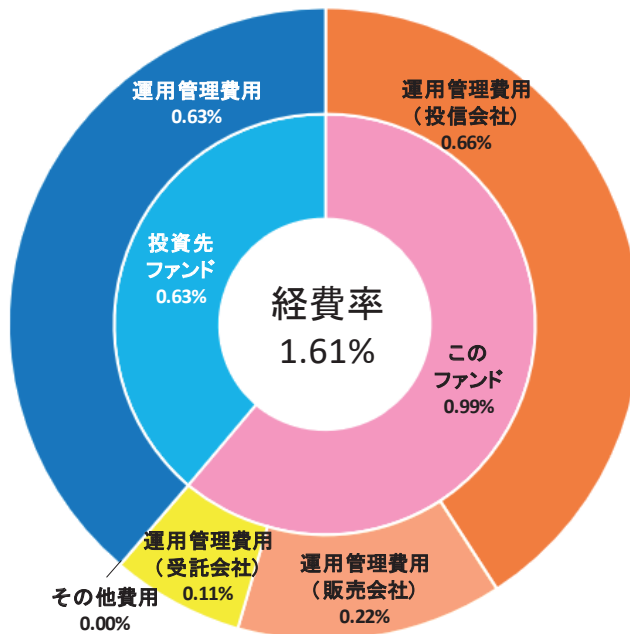
(注2) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(参考情報)

経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く） 当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.61%です。



経費率(①+②)	1.61%
①このファンドの費用の比率	0.99%
②投資先ファンドの経費率	0.63%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

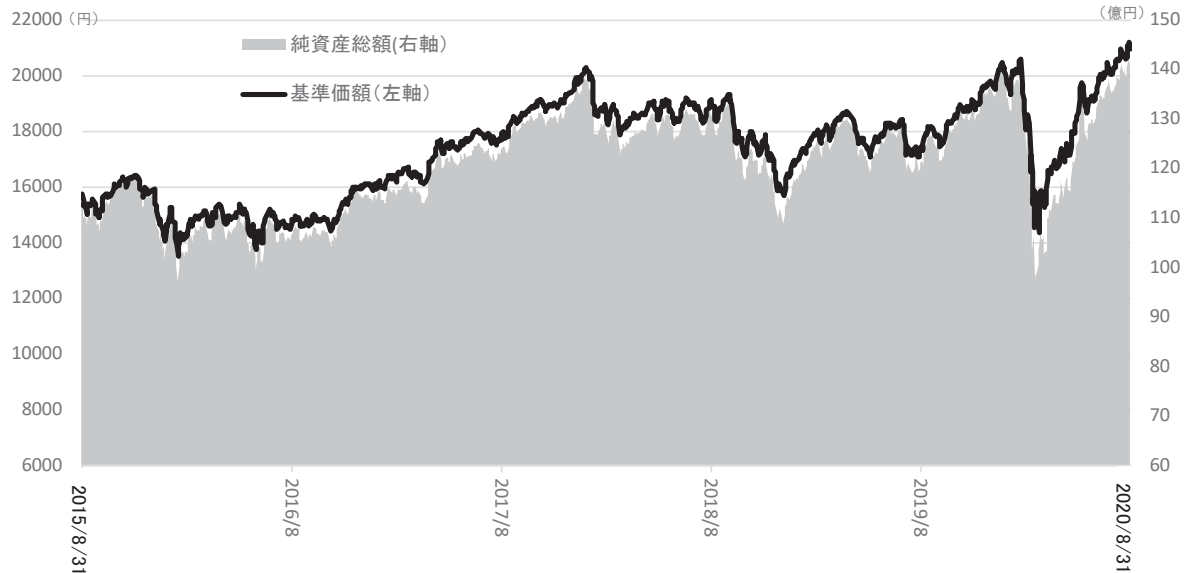
(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

○最近5年間の基準価額等の推移

(2015年8月31日～2020年8月31日)



	2016年 8月31日決算日	2017年 8月31日決算日	2018年 8月31日決算日	2019年 9月2日決算日	2020年 8月31日決算日
基準価額 (円)	14,686	17,859	18,975	17,417	20,964
期間分配金合計 (税込) (円)	—	—	—	—	—
基準価額の騰落率 (%)	△6.9	21.6	6.2	△8.2	20.4
純資産総額 (百万円)	10,667	12,385	13,092	12,156	14,087

(注1) 当ファンドの運用方針に適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を併記しておりません。

(注2) 当ファンドは分配金を出しておりませんので、分配金再投資基準価額の騰落率は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

○投資環境（2019年9月～2020年8月）

当期の世界株式市場は、前半は前期から引き続き米中貿易摩擦問題の動向と、一人勝ちしてきた米国経済のピークアウト観測などに左右されながらも上昇しました。しかし、中盤では新型コロナウイルス感染拡大による経済活動への影響が懸念され、世界株式市場は総じて大きく下落しました。その後期末にかけては、世界各国の大規模な経済対策、財政出動と金融緩和姿勢の強化により、投資マインドが改善され上昇相場に転じました。

日本では、前期末以前に米国における米国債利回りの逆イールド（10年、2年債）が観測され、それまで世界株式市場を牽引し続けてきた堅調な米国経済の景気後退懸念から、日本株式市場含め世界的に株価は下落していましたが、当期に入りそういった世界経済に対する極端な弱気が影を潜め、米国長期金利が上昇したことなどを背景に、世界的なバリュートラップになりました。日本株は世界のバリュートラップ株と揶揄されることもあるように、こういったバリュートラップ相場では大きく上昇する傾向があり、おおむね2019年内は他の国・地域市場に対してアウトパフォームしました。2020年に入ってから、こういったバリュートラップ相場の終焉、新型コロナウイルス感染拡大による世界経済に対する悪影響が懸念され、世界株式市場同様大きく下落しました。世界各国の大規模な経済対策、財政出動と金融緩和強化により日本株も大きく反発しましたが、期末にかけては、世界的にポストコロナを見据えた投資行動が意識され、他国・地域市場に比べて相対的に構造不況業種が多く、大型の成長企業も少ない日本株は世界株式市場全体に比べて見劣る結果になりました。

米国では、上記で言及したように前期末から2019年末にかけて堅調だった経済のピークアウト感が認識される局面がありましたが、米中貿易交渉に歩み寄りの兆しが観測されたこともあり、期前半では株価は堅調に上昇しました。しかし、年明け早々米国とイラン情勢の緊張を背景に大きく下落する局面もありました。期中盤の新型コロナウイルス感染拡大局面では、対応策として、FRB（米連邦準備理事会）は臨時のFOMC（米連邦公開市場委員会）を開催し、政策金利を大幅に引き下げましたが、それだけでは相場を支えるだけの不安感を払拭できず、また一部の都市では外出禁止など厳しい行動制限を伴ったロックダウンによる経済活動の低迷懸念から、株価は他国・地域市場に比べても急激な速度で下落しました。その後は、ウィズコロナ時代で必要とされるハイテク銘柄を中心に株価は上昇を続け、そういった大型成長銘柄の多い米国株式市場では日本株式市場とは対照的に、コロナ前の水準を超えました。

欧州も米国と同様の相場展開でしたが、米国に比べて大型ハイテク銘柄が少ないこと、需要が大幅に減少した旅行関連業種が経済全体に占める割合が比較的多いことなどもあり、株価水準は見劣りする形になりました。ただし、期後半では、長らく続いた米ドル高是正とEU首脳会議で復興基金合意に達したことなどもあり、対円でユーロ高が進行しました。

新興国でも中盤の新型コロナウイルス感染拡大頃までは上記と同様の相場展開でしたが、ウイルス感染拡大の封じ込めに成功した国とそうではない国とで、株価の戻り度合いには差がつかしました。ただし、新興国株市場全体としてはコロナ前の水準へ株価が戻りました。

○当ファンドの運用経過

当期も引き続き株式を主とした国際分散投資を継続しました。長期的に米中関係の不透明感が増してきていることや、反グローバリズムの機運が広がっていることなどから世界経済において分断の兆候が見られるようになってきました。こういった投資環境下において、今まで買われ続けて株価が大きく上昇している大型成長銘柄の保有だけではなく、それぞれの国・地域の需要に根ざした小型成長銘柄への投資割合を増やすことも重要と判断し、「アバディーン・スタンダード・エマージング・マーケット・スモールカンパニーズ・ファンド」を新規組み入れるなどして、分散投資を推し進めました。同様に、株式市場とは異なる値動きをする資産への投資割合を増やすことによる分散効果を前提に「SPDR ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト（金 ETF）ファンド」も新規に組み入れました。こちらのファンドでは既存の金 ETF ファンドよりも信託報酬の安いスキームになっており、当期も引き続き当ファンド全体の信託報酬を下げるべく信託報酬が安くかつ長期で優れた運用パフォーマンスを有するファンドへのスイッチングも継続しました。

（参考情報）前期末とのファンド組入比率の比較

ファンド名	15期末 組入比率	当期末 組入比率
アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ	14.5%	18.3%
アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース	15.4%	16.6%
アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト	12.5%	14.0%
アバディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモールカンパニーズ・ファンド	9.8%	11.1%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ	10.4%	11.0%
アバディーン・スタンダード・エマージング・マーケット・スモールカンパニーズ・ファンド	-	9.8%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・ロウ・ボラティリティ・エクイティ・ポートフォリオ	19.5%	8.0%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	7.2%	6.1%
iシェアーズ ゴールド・トラスト	2.7%	2.9%
SPDRゴールド・ミニシェアーズ・トラスト	-	0.9%
コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95(適格機関投資家限定)	2.3%	-
コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90(適格機関投資家限定)	0.6%	-
組入ファンド数	10	10

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。 (注3) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に適当な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマーク（参考指数）との対比グラフは表示しておりません。

○分配金

基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き分配無しとさせていただきます。なお、分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用方針に基づいて運用いたします。

(単位：円、1 万口当たり・税引前)

第 16 期 (2019 年 9 月 3 日～2020 年 8 月 31 日)	
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,401

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、リスクを抑えながら資産の長期的な成長を目指す投資方針を続けて参ります。日本に限らず世界で活躍する成長企業の成長性を享受できるよう引き続き国際分散投資を徹底いたします。また、丹念な企業調査に基づく伝統的な運用スタイルのファンドを厳選選別し組み入れていくことで、リスクを抑制いたします。

お知らせ

当期中の約款変更について

当期中に実施した約款変更は以下の通りです。

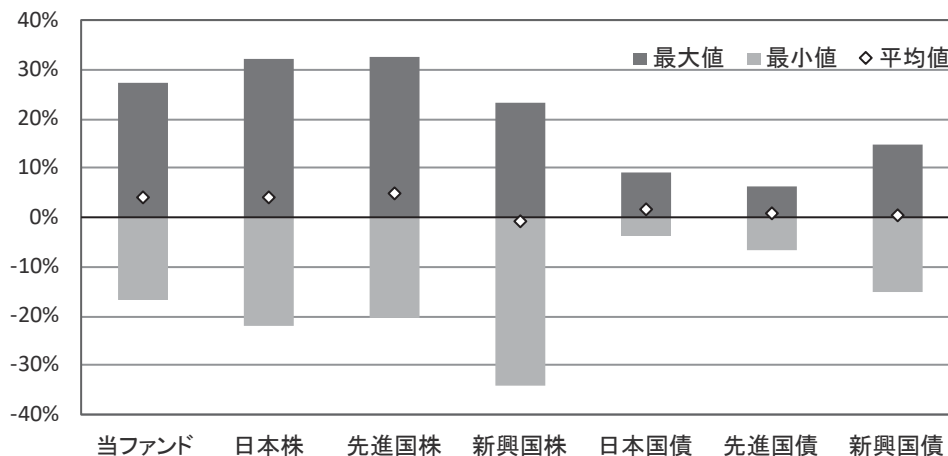
- ① 2019年11月29日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。
- ② 2020年5月29日 「信託事務の諸費用」の負担内容（信託約款32条）及び「信託報酬等の総額」の段階金額（信託約款33条）の変更
信託事務の諸費用及び信託報酬等の総額の変更に伴い、信託約款32条「信託事務の諸費用」及び信託約款33条「信託報酬等の総額」に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	当ファンドは、投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資を行ない、信託財産の成長を計ることを目標として運用を行ないます。
主 要 運 用 対 象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
運 用 方 法	運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。 短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。
分 配 方 針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。（分配を行わないこともあります。）分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2015年9月末～2020年8月末)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.3	32.2	32.4	23.3	9.1	6.4	15.0
最小値	-16.8	-22.0	-20.2	-34.2	-3.9	-6.6	-14.9
平均値	4.2	4.2	5.1	-0.9	1.6	1.0	0.6

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年9月～2020年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

【各資産クラスの指数】

日本株 : TOPIX 配当込み指数

先進国株 : FactSet Market Indices Developed Countries (配当込み)

新興国株 : FactSet Market Indices Emerging Countries (配当込み)

日本国債 : ブルームバーク・バークレイズ・グローバル国債 : 日本インデックス

先進国債 : ブルームバーク・バークレイズ・グローバル国債 : G7インデックス (ヘッジなし円ベース)

新興国債 : ブルームバーク・バークレイズ新興市場自国通貨建て国債インデックス (ヘッジなし円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※上記指数はファクトセットより取得しています。

※代表的な資産クラスの騰落率はファクトセットのデータベースをもとに、ありがとう投信株式会社が計算しています。

TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。

ブルームバーク® (BLOOMBERG®) はブルームバーク・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社 (以下「ブルームバーク」と総称します。) の商標およびサービスマークです。バークレイズ® (BARCLAYS®) は、ライセンスの下で使用されている、バークレイズ・バンク・ビーエルシー (その関係会社と総称して「バークレイズ」といいます。) の商標およびサービスマークです。ブルームバークまたはブルームバークへのライセンス付与者 (バークレイズを含みます。) は、ブルームバーク・バークレイズ指数に対する一切の専有権を有しています。ブルームバークおよびバークレイズのいずれも、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関してもいかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限において、ブルームバークおよびバークレイズのいずれもこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

当ファンドのデータ

○当ファンドの組入資産の内容

(2020 年 8 月 31 日現在)

組入ファンド	組入比率
アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ	18.3%
アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース	16.6%
アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト	14.0%
アバディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモール・カンパニー・ファンド	11.1%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ	11.0%
アバディーン・スタンダード・エマージング・マーケット・スモール・カンパニー・ファンド	9.8%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・ロウ・ボラティリティ・エクイティ・ポートフォリオ	8.0%
コムジスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	6.1%
iシェアーズ ゴールド・トラスト	2.9%
SPDRゴールド・ミニシェアーズ・トラスト	0.9%
その他(短期金融資産等)	1.3%
組入ファンド数	10銘柄

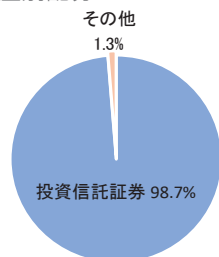
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては運用報告書(全体版)に記載されております。

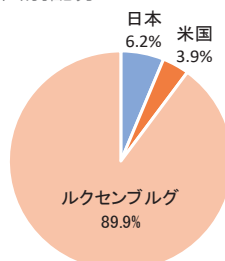
(注3) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

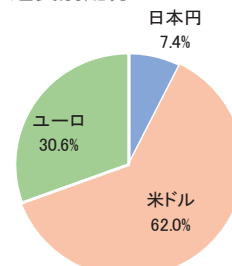
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分(発行国基準)の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

○純資産等

項 目	第 16 期末
	2020 年 8 月 31 日
純 資 産 総 額	14,087,578,044 円
受 益 権 総 口 数	6,719,903,129 口
1 万口当たり基準価額	20,964 円

(注) 期中における追加設定元本額は 430,227,449 円、同解約元本額は 690,087,454 円です。

○組入ファンドの概要

以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。詳細な内容については運用報告書（全体版）に記載しております。

アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

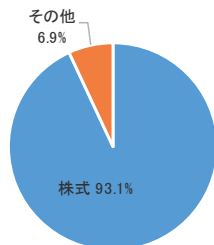
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.70%

◆組入上位 10 銘柄

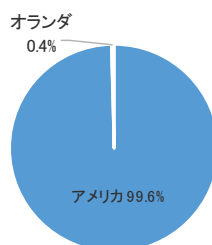
(2019 年 5 月 31 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	Alphabet, Inc. - Class C	米ドル	アメリカ	8.1%
2	Microsoft Corp.	米ドル	アメリカ	6.1%
3	Visa, Inc. - Class A	米ドル	アメリカ	5.5%
4	UnitedHealth Group, Inc.	米ドル	アメリカ	5.4%
5	Facebook, Inc. - Class A	米ドル	アメリカ	4.8%
6	Monster Beverage Corp.	米ドル	アメリカ	4.0%
7	Zoetis, Inc.	米ドル	アメリカ	3.9%
8	Home Depot, Inc. (The)	米ドル	アメリカ	3.4%
9	Booking Holdings, Inc.	米ドル	アメリカ	3.3%
10	Costco Wholesale Corp.	米ドル	アメリカ	3.0%

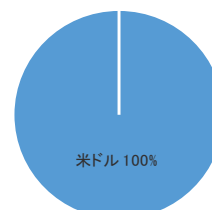
◆資産別配分



◆国別配分



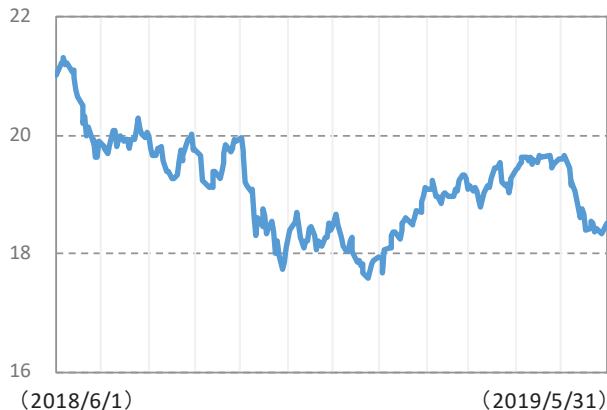
◆通貨別配分



アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・ロウ・ボラティリティ・エクイティ・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

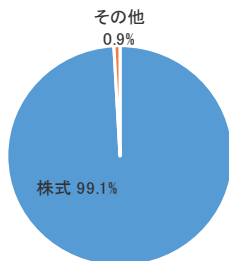
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.85%

◆組入上位 10 銘柄

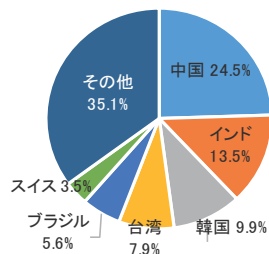
(2019 年 5 月 31 日現在)

	銘柄名	国/地域	投資比率(%)
1	Tencent Holdings Ltd.	中国	4.5%
2	Samsung Electronics Co., Ltd.	韓国	4.3%
3	Alibaba Group Holding Ltd. (Sponsored ADR)	中国	3.9%
4	Nestle SA (REG)	スイス	3.5%
5	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	台湾	3.3%
6	Infosys Ltd. (Sponsored ADR)	インド	2.7%
7	Petronet LNG Ltd.	インド	2.2%
8	China Mobile Ltd.	中国	2.1%
9	Danone SA	フランス	2.1%
10	Wal-Mart de Mexico SAB de CV	メキシコ	2.1%

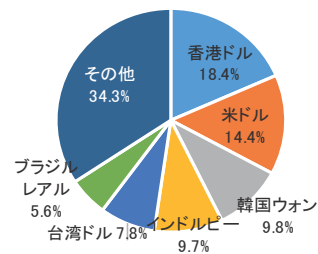
◆資産別配分



◆国別配分



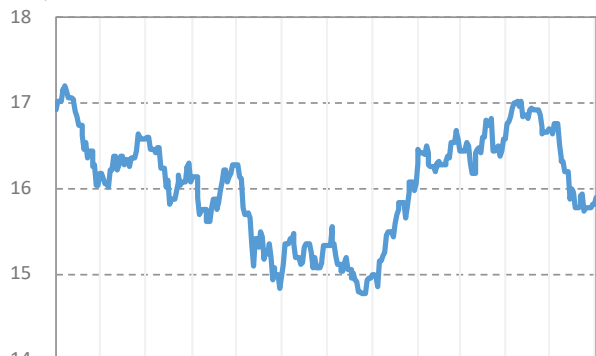
◆通貨別配分



アライアンス・バーンスタイン-エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



(2018/6/1)

(2019/5/31)

◆費用明細

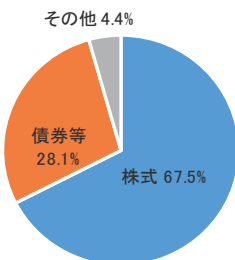
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.80%

◆組入上位 10 銘柄

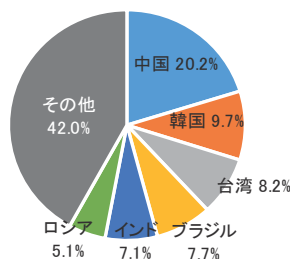
(2019 年 5 月 31 日現在)

	銘柄名	国/地域/種別	投資比率(%)
1	iShares Core MSCI EM IMI UCITS ETF	新興国ETF	3.0%
2	Samsung Electronics Co., Ltd.	韓国	2.4%
3	Tencent Holdings Ltd.	中国	2.1%
4	Alibaba Group Holding Ltd. (ADR)	中国	1.9%
5	LUKOIL PJSC (Sponsored ADR)	ロシア	1.8%
6	Hana Financial Group, Inc.	韓国	1.5%
7	Estacio Participacoes SA	ブラジル	1.4%
8	AB SICAV I – China Equity Portfolio Class S	中国	1.3%
9	China Petroleum & Chemical Corp. – Class H	中国	1.2%
10	China Everbright Ltd.	中国	1.2%

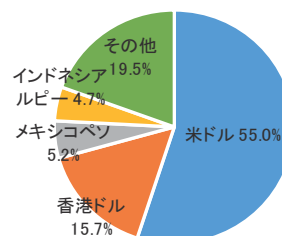
◆資産別配分



◆国別配分



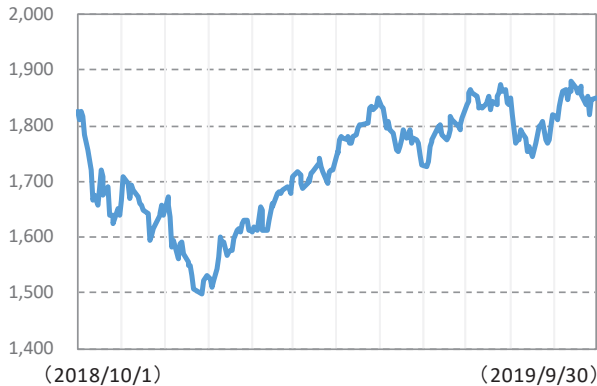
◆通貨別配分



アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース

◆基準価額の推移

(ユーロ)



◆費用明細

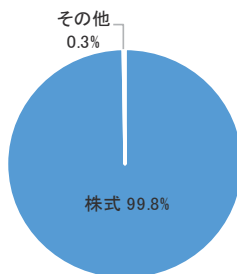
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.45%

◆組入上位 10 銘柄

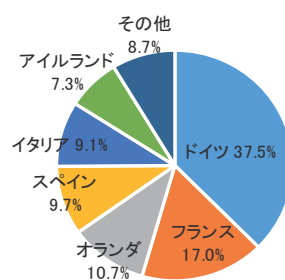
(2019 年 9 月 30 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	SAP SE	ユーロ	ドイツ	6.2%
2	ASML HOLDING NV	ユーロ	オランダ	6.2%
3	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON	ユーロ	フランス	5.2%
4	AMADEUS IT GROUP SA	ユーロ	スペイン	4.0%
5	UNITED INTERNET AG	ユーロ	ドイツ	3.8%
6	UNILEVER NV	ユーロ	イギリス	3.4%
7	DCC PLC	英ポンド	アイルランド	3.3%
8	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ユーロ	ドイツ	3.3%
9	KINGSPAN GROUP PLC	ユーロ	アイルランド	3.2%
10	BANCA GENERALI SPA	ユーロ	イタリア	3.1%

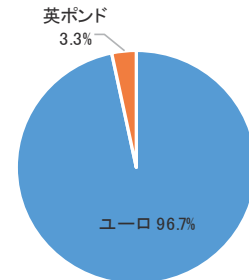
◆資産別配分



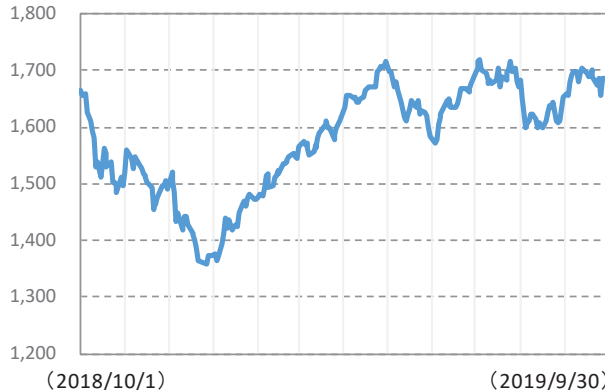
◆国別配分



◆通貨別配分



アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

◆基準価額の推移
(ユーロ)

◆費用明細

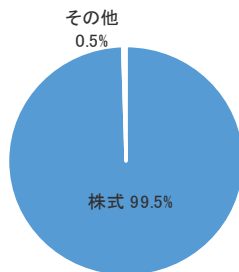
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.45%

◆組入上位 10 銘柄

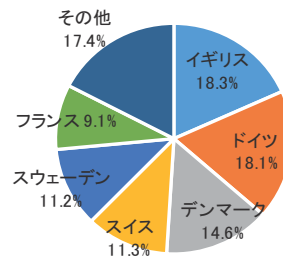
(2019 年 9 月 30 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	SAP SE	ユーロ	ドイツ	6.2%
2	ASML HOLDING NV	ユーロ	オランダ	5.9%
3	DSV PANALPINA A/S	デンマーククローネ	デンマーク	4.7%
4	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーククローネ	デンマーク	4.6%
5	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ユーロ	ドイツ	4.2%
6	SIKA AG-REG	スイスフラン	スイス	3.9%
7	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON	ユーロ	フランス	3.3%
8	AMADEUS IT GROUP SA	ユーロ	スペイン	3.3%
9	DCC PLC	英ポンド	アイルランド	3.3%
10	COLOPLAST-B	デンマーククローネ	デンマーク	3.3%

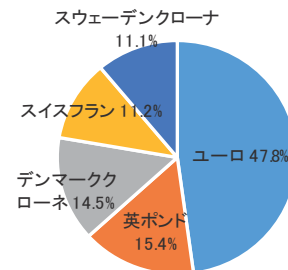
◆資産別配分



◆国別配分



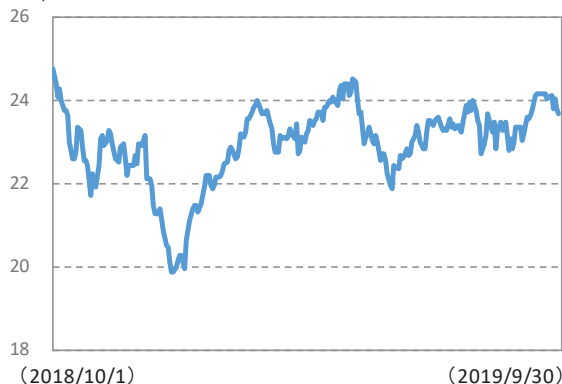
◆通貨別配分



アバディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモラーカンパニーズ・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

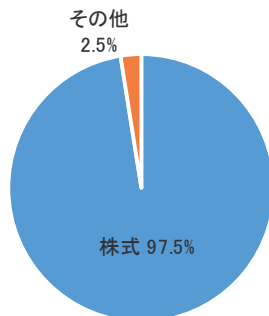
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.75%

◆組入上位 10 銘柄

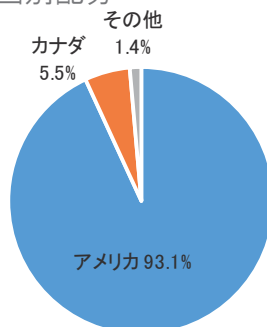
(2019 年 9 月 30 日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	グローバース・メディカル	米ドル	アメリカ	3.0%
2	ニーナ・ペーパー	米ドル	アメリカ	2.9%
3	インサイト・エンタープライゼス	米ドル	アメリカ	2.6%
4	BJ's Wholesale Club Holdings Inc	米ドル	アメリカ	2.6%
5	キャセラ・ウェスト・システムズ	米ドル	アメリカ	2.5%
6	エコ・グローバル・ロジスティクス	米ドル	アメリカ	2.3%
7	LCIインダストリーズ	米ドル	アメリカ	2.3%
8	サイア	米ドル	アメリカ	2.3%
9	ジブラルタル・インダストリーズ	米ドル	アメリカ	2.2%
10	クエーカー・ケミカル	米ドル	アメリカ	2.1%

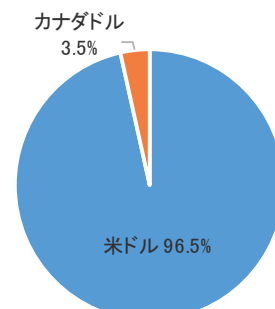
◆資産別配分



◆国別配分



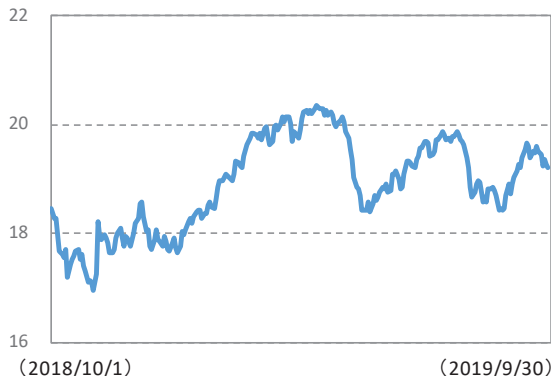
◆通貨別配分



アバディーン・スタンダード・エマージング・マーケット・スモール・カンパニー・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

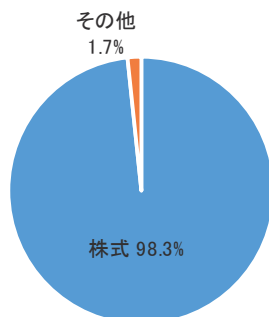
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.80%

◆組入上位 10 銘柄

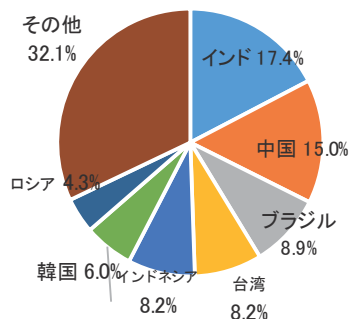
(2019 年 9 月 30 日現在)

	銘柄名	国/地域	投資比率(%)
1	太平洋航運集団 [パシフィック・ペイシフィック]	香港	3.8%
2	エース・ハードウェア・インドネシア	インドネシア	3.6%
3	ASMインターナショナル	オランダ	3.5%
4	エムファシス	インドネシア	3.4%
5	宝雅国際[ホヤ・インターナショナル]	台湾	3.3%
6	ベルガ・グループ	ロシア	3.1%
7	致茂電子[クロマTE]	台湾	3.1%
8	ヤンロード・ランド・グループ	中国	2.7%
9	中升控股 [チョンサン・グループ・ホールディング]	中国	2.6%
10	ディノ・ホルスカ	ポーランド	2.6%

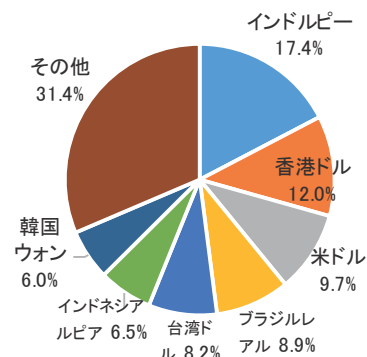
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



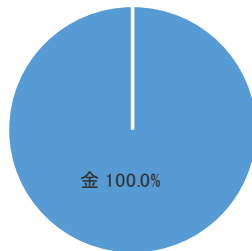
i シェアーズ ゴールド・トラスト

◆基準価額の推移
(米ドル)

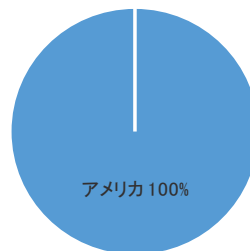
◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.25%

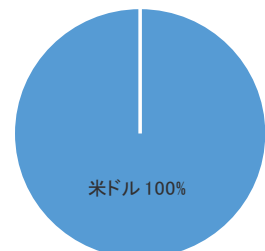
◆資産別配分



◆国別配分



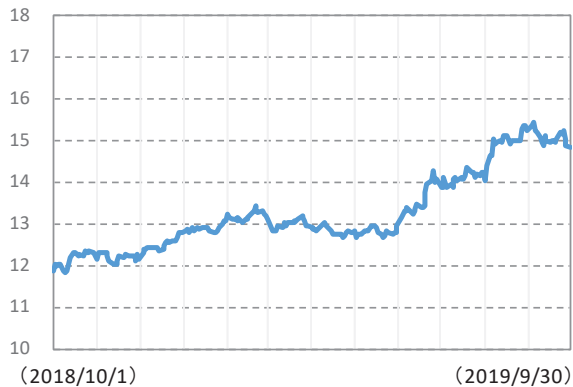
◆通貨別配分



SPDR ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト

◆基準価額の推移

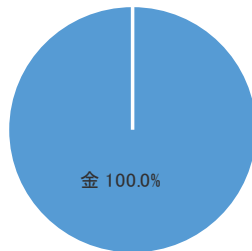
(米ドル)



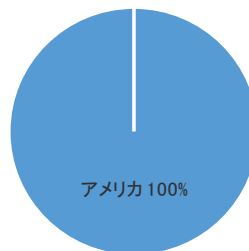
◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.18%

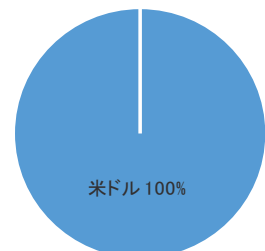
◆資産別配分



◆国別配分

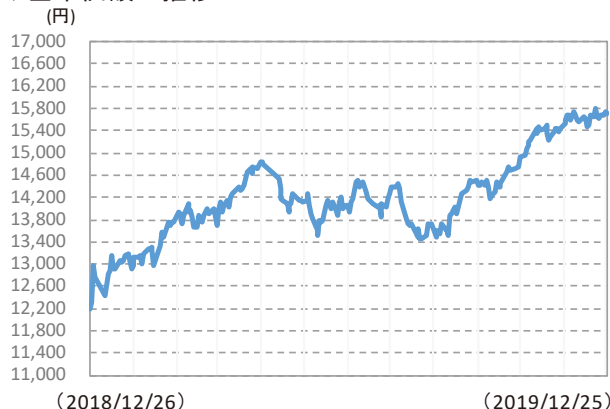


◆通貨別配分



コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

◆基準価額の推移



◆組入ファンド

(2019年12月25日現在)

	組入比率
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.0%
コール・ローン等、その他	1.0%
組入銘柄数	1銘柄

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	121	0.856	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(78)	(0.550)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0.275)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.031)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	9	0.060	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(9)	(0.060)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	2	0.015	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(2)	(0.015)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	132	0.931	
期中の平均基準価額は、14,151円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】コムジェスト日本株式マザーファンド

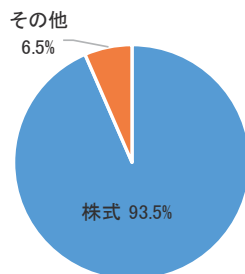
※コムジェスト日本株式ファンドの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

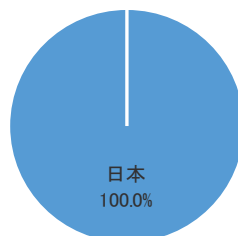
(2019 年 12 月 25 日現在)

	銘柄名	国	業種	投資比率(%)
1	ダイフク	日本	資本財・サービス	3.8%
2	ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	3.4%
3	キーエンス	日本	情報技術	3.3%
4	エムスリー	日本	ヘルスケア	3.2%
5	光通信	日本	一般消費財・サービス	3.2%
6	HOYA	日本	ヘルスケア	3.1%
7	村田製作所	日本	情報技術	3.1%
8	朝日インテック	日本	ヘルスケア	2.9%
9	ビジョン	日本	生活必需品	2.9%
10	パン・パシフィック・インターナショナルホ	日本	一般消費財・サービス	2.8%
組入銘柄数				40銘柄

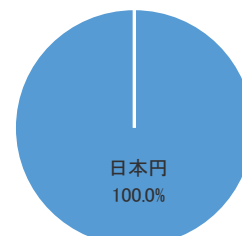
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。

直接販売状況

2020年8月31日決算日現在 有効口座数（※）4,819 口座 ※決算日現在残高のないお客様も含みます。

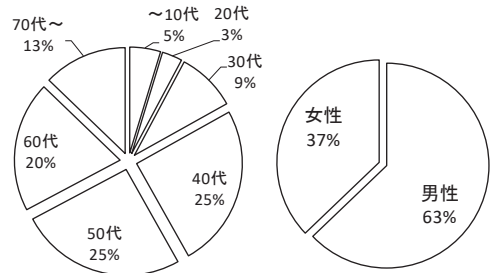
当期末現在で口座数が4,819 口座（内法人29 口座）となりました。一人当たりの平均保有残高は2,923 千円です。当期間の新規口座開設件数は97 口座でした。家族・知人の紹介を口座開設のきっかけとされる方が約半数を占めております。一方、口座閉鎖数は76 口座となりました。

◆お客様の特徴

年代別では、50 代のお客様が25%と最も多く、40 代から60 代のお客様が全体の約7割となっております。

◆ファンド設定・解約の状況

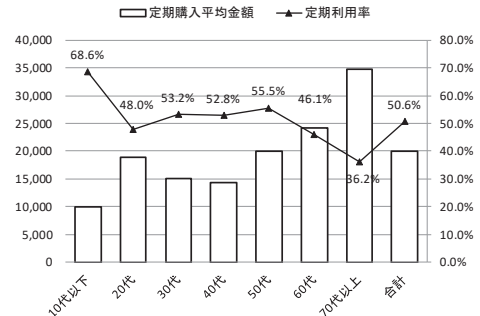
第16 期においては、設定金額が790 百万円、解約金額が1,300 百万円となり、金額ベースで510 百万円の純流出となりました。主な要因としては、基準価額が上昇し最高値圏で推移したことによる利益確定の換金が増えたことが上げられます。また、ありがたいとうファンドの純資産額は、期中平均127 億円となりました。



◆定期積立サービス

当サービスをご利用されているお客様の割合は50.6%（分母：有効口座数）。一人当たりの定期購入金額平均は19,981 円でした。

長期・国際分散・積立投資は資産形成の王道であります。少額から積立投資を継続することで時間分散によってリスクを抑えながら資産形成ができるので、特にこれから将来に備えていく現役世代の方にご利用をおすすめしております。



◆運用状況を随時お伝えしております。

毎月上旬発行の月次レポートやありがたいとうブログ等で運用状況や資産運用に役に立つ情報発信しております。また、資産運用無料個別相談を随時実施しております。今後も引き続きお客様の資産運用を入口から出口まで一生涯サポートさせていただきます。

「R&I ファンド大賞」についての注記：「R&I ファンド大賞」は、R&I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R&I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R&I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。